

サンケイスポーツ

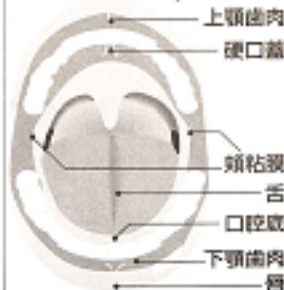


50、60代だけじゃない! 20、30代で発症の恐れも...

口腔がんは口腔がん専門医による精密検査が必要。早期発見・早期治療で、5年生存率が80%以上と高い。口腔がんは口腔がん専門医による精密検査が必要。早期発見・早期治療で、5年生存率が80%以上と高い。

月に1回「口チェック」して防ごう

# 口腔がん



**口腔がんの5年生存率**  
口腔がんは口腔がん専門医による精密検査が必要。早期発見・早期治療で、5年生存率が80%以上と高い。

**虫菌や抜けた歯放置せず**  
虫歯や抜けた歯を放置すると、口腔がんの原因となる。早急の治療が必要です。

**割れたり合わない義歯の交換を**  
割れたり合わない義歯は、口腔がんの原因となる。早急の交換が必要です。

- 【口腔がんの予防ポイント】
- 口腔がんの予防は、定期的な口腔がん検診を受けることが大切です。
  - 歯垢や歯石を定期的に除去し、虫歯や歯周病を予防します。
  - 歯の矯正や入れ歯の調整は、定期的に受診してください。
  - 喫煙や飲酒を控えることが大切です。
  - 口腔がんの予防には、定期的な口腔がん検診を受けることが大切です。

**【口腔がん自己チェック法】**  
口腔がんの自己チェック法は、舌の裏側や口底、頬の内側など、口腔がんが好発する部位を触診し、硬さや腫れ、潰瘍の有無を確認します。

- 舌の裏側や口底、頬の内側など、口腔がんが好発する部位を触診し、硬さや腫れ、潰瘍の有無を確認します。
- 喫煙や飲酒を控えることが大切です。
- 口腔がんの予防には、定期的な口腔がん検診を受けることが大切です。



項目	医師
● 歯垢や歯石の蓄積がひどい	
● 歯の矯正や入れ歯の調整が不十分	
● 舌の裏側や口底、頬の内側などに硬さや腫れ、潰瘍がある	
● 喫煙や飲酒の習慣がある	
● 家族に口腔がんの患者がいる	
● よく口を開けて話す	
● 歯がぐらぐらしている	
● 歯の矯正や入れ歯の調整が不十分	
● 舌の裏側や口底、頬の内側などに硬さや腫れ、潰瘍がある	
● 喫煙や飲酒の習慣がある	
● 家族に口腔がんの患者がいる	
● よく口を開けて話す	
● 歯がぐらぐらしている	

**昭和大学歯学部 新谷悟教授**  
昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。

昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。

昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。

**年間6000人がかかる…半数死亡**  
【がんの脅威】 口腔がんは、日本では年々増加している。年間約6000人が発症し、半数が死亡する。早期発見・早期治療が重要。

昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。

昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。

昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。

昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。

昭和大学歯学部教授、口腔がん専門医。専門は口腔がん、口腔がんの診断と治療。